2005 年 10 月 31 日
東京ガス株式会社

中間決算説明会　主な Q&A

Q：連結子会社のなかで、利益ベースで見た場合、計画を上回る業績を上げた会社はあるか？
　また、他に子会社の業績で特徴的なものは何か？
A：エネルギーサービス事業を展開している（株）エネルギーアドバンスが好調で、経常利益ベースで計画を大きく上回っている。一方、ガス工事を行う（株）関配は苦戦している。不動産事業を行う東京ガス都市開発（株）は、子会社のスポーツ事業会社を売却したため、特別利益を計上した。

Q：固定費の削減が進んでいるが、過去に比べると削減スピードが緩くなっていくのではないかという見方もあるが、今後数年間を見たとき、もう限界なのか、それともまだ削減余地はあるのか？
A：競争力を維持するためにも、引き続きコストダウンを進めていく。具体的なコストダウン目標は、来年１月に発表する新中期経営計画のなかで示していきたい。

Q：原油価格の高騰に伴い、LNG 価格も上がっているが、油との競合という点では有利であり、燃料転換の引き合いも多いと聞いている。この効果が収支にいつどういう規模で反映してくるのか？
A：従来の環境面での優位性に加え、価格面での競合力も増し、引き合いが増えているのは事実。しかし、お客さまが実際に燃料転換を決め設備が更新されるまでには時間がかかる。効果が収支上にあらわれるのは、数年先となる。

以上